

としはる通信

2005.12

No. 14

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



いよいよ

師走に入り寒い日が続いており、今年も今年も新型インフルエンザの流行が懸念される報道もあります。どうぞ皆様ご自愛され、新しい年を迎えられるようお祈りいたします。

さて、12月12日と13日の二日間平成17年山北町議会第4回定例会が開催されました。主な議題は、公の施設の指定管理者の手続き条例の制定、一般会計及び国民健康保険事業など4特別会計の補正予算でした。いずれ「議会だより」で詳しく報告されますが、速報としていつものようにお知らせしてまいります。ご一読いただいでご意見などもお寄せいただきますようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

東山北駅周辺のまちづくり

東山北駅近隣住民の悲願である国道246号線の向原バイパス工事は、最終段階が見通せる状況になってきました。そこでバイパス完成後の周辺整備について質問しました。

質問 東山北駅は山北高校生の通学に、また、マンションやサンライズ東山北の集合住宅を含む地域住民や、岸地区からの通勤者の利用により、町内にあるJR3駅で乗降客が一番多い。しかし駅周辺は十分な整備がされておらず、駅の利用者、地域住民にとっても利用しにくい状況にある。向原バイパスとそれに付随する町道等が整備された時、駅周辺の土地の有効活用を図るべきだと思

うがどのように整備するのか。

答弁 ローターリーを含む送迎エリア、歩道、駐車場、駐輪場など整備の計画がある。2550mを対象に必要施設と国の補助金を検討中です。

しかし、この計画の実現には地権者の理解と協力が必要です。

質問 周辺地域土地の宅地転換による民間の戸建て住宅建設を歓迎するが、宅地開発に当たっては道路の整備計画を立て、完成時は系統だった道路となるように開発事業者を指導する予定はないか。



工事途中の向原バイパス整備計画を立て、完成時は系統だった道路となるように開発事業者を指導する予定はないか。

答弁 町の開発事業では下水道を含めて町道の整備を行う。民間業者の開発では町道との接点を持つよう指導していく。

質問 県道東山北停車場線三菱カス化学付近の通勤時の混雑緩和対策及び酒匂川左岸道路の建設促進に向けた取り組みはどうなっているか。

答弁 東山北停車場線の交差点は改良の予備設計が完了している。し

かし、小田原山北線の改良工事が先であり、同時に進むことはない。年月はかかるが要望していく。小田原山北線は18年度で八幡神社社務所の買収をし、その後順次進めていくことになっている。

酒匂川左岸道路は松田の計画が進んでいないので時間がかかる。

公の施設の指定管理者の

指定手続き等に関する条例

新規条例の制定

公の施設の「指定管理者制度」が創設され、現在外部委託中または設置条例に委託事項がある公の施設（山北町では19施設）は平成18年9月2日以降、町が直接管理するか、指定管理者制度を導入するか、いずれかの方法により管理しなければなりません。指定管理者は公的な団体のほか、民間企業やNPOにも委託できるようになりました。その手続きの条例を制定するものです。指定管理者は公募により選定するか、町が直接指定することが出来ます。

導入スケジュールは18年3月個々の施設の設置条例の改正、4月指定管理者の募集、5月候補者を選定、6月議会の議決を以って指定管理者を決定、18年9月から指定管理者による業務が開始されます。

全員協議会から

11月28日の臨時議会と12月13日の定例会において、全員協議会が開催され、町からアスベスト対策、足柄上地区ごみ処理広域化計画などについて説明がありました。また、議員定数についても話し合いが行われましたのでその結果を報告します。

アスベスト対策

12月補正予算で対策費を計上
町内公共施設301箇所のアスベスト使用状況を調査。

吹き付けアスベストの使用は、火葬場ボイラー室と清水小学校機械室の2箇所。アスベスト固化処理剤を吹きつけ、封じ込め工法により処理をする。

アスベストを含む建材を使用している施設は90箇所。必要が生じた時点で対応。解体時は注意する。

給食用調理器、山北中学校と清水保育園の回転釜に含有。山北中学校は交換、清水保育園は撤去する。
12月議会で補正予算を計上したので、年度内には対策が終了します。

高松地区畜産団地整備構想

中山間保全整備事業の

基本調査を国レベルで開始
平成14年に町が取得した86ヘク

タールの土地の整備構想です。

構想としては、肉用牛を中心とした畜産団地を整備して地域ブランド化を目指す。地区内家畜を対象とした堆肥化施設の整備し、生産された堆肥は周辺地域で活用する。農地の再編、上下水道や地区内道路の生活環境整備、ふれあい交流施設整備です。また、これらに伴う物流や生活利便性向上のための道路整備も構想に含まれています。

この構想は今、国、県、町で検討委員会を作って調査を進めることになっていきます。また、受益面積から足柄地区1市5町の協力が必要となります。

スケジュールは基本調査(1市5町対象)2年、地区調査1年、実施設計1年、事業実施8年となっています。

議員定数見直し

次回選挙で削減の方向

近隣市町では議員定数の見直しが行われております。今後、地方分権が推進されるとき、自治体としては行政改革、議会改革そして議会の効率化に向けた取り組みをしなければなりません。

山北町議会では3年前に議員定数を18名と決定しましたが、今回改めて議論をした結果、次期選挙までに

は定数を削減する方向で検討していくことになりました。それぞれの議員が研究をして18年3月議会を目標に提案することになりました。

議員定数に対するご意見がございましたら、ご連絡いただきますようお願いいたします。

足柄上ごみ処理広域化計画

18年度から議論を再開

1市5町のごみ処理広域化計画は平成17年3月31日まで活動を休止してしました。9月13日に山北町のエコループプロジェクト受け入れ中止を受け、1市5町の枠組みの中で再開していくことが決まりました。

18年度に入ってから議論を始めるようになっていますが、具体的な再開の時期は示されていません。

18年度に延びる理由は、既存施設の補修工事により、稼働が可能となり時間的余裕が生まれた、ごみ処理に対して住民の間で種々の問題が発生している、というものです。

足柄上病院産婦人科存続を

県知事に意見書を提出

足柄上病院の産婦人科が平成18年4月以降、医師の確保が困難を理由に中止されようとしています。

県は各大学病院への訪問、派遣要請インターネットを通じての募集

医療雑誌への掲載などで医師確保に努力しております。上郡5町の首長も直接県知事に存続の要請をしておりますが、まだ見通しは立っていない状況です。

議会としても医療の継続を強く求め、意見書を提出しました。



写真は12月17日に行われた山北町と山北町の子どもの交歓会で見かん狩りを楽しむ子どもたちです。山北町の子ども体験センターでは、日、祝日に中央公民館の南側の一角で、主にインターネットを使った調べ物や、ゲームを楽しめるようにパソコンが用意されています。

野外活動として、今年は小山町の子どもたちと、河村城址のみかん狩りやレクリエーションを楽しみました。